

ロンドンには、私の幼い頃からの憧れの地でした。小学生の時、『ハリーポッターと秘密の部屋』に出てくるとても大きなお城や、大広間でたくさんの食事を囲むハリーたちを観て、胸が高鳴ったのを今でも覚えています。

2週間のイギリス研修旅行は、本当にあっという間でした。14時間のフライトを終えてロンドンのヒースロー空港に着いた時はまだ朝早く、日本と違って、つんと澄んだ空気を肌感じて、「これから始まるんだ」と期待する気持ちと「上手くやれるかな」と不安に思う気持ちが入り混じっていた私の心を、その澄んだ空気が浄化してくれたような気がしました。

私が滞在した寮、そしてインターナショナルスクールはロンドンから少し外れたカンタベリーという街にありました。大きな建物がたくさん立ち並ぶ景色とは裏腹に、お城の装飾や石畳の道は細々としており、毎日歩く道でも違う発見がたくさんありました。インターナショナルスクールには、イタリアやフランス、中国など様々な国から来た留学生がいて、生まれた場所は違えど同じ言語を学ぶ私たちにはなにか共通するものがあり、すぐに打ち解けることができました。それまで「日本人英語」と言われるようなあまり流暢でない英語には少しコンプレックスがありましたが、他の国から来た彼らの英語を聞いているうちに変わったアクセントも個性なのだと、必ずしも綺麗に話すことが重要ではないのだと思うことができました。学校の授業は1週間ごとに区切られており、月曜日から木曜日に研究した内容を金曜日に発表するというものでした。3人1組になって自分たちで質問を考え、実際に街に出てインタビューをしても嫌な顔せず答えてくれる人が多く、心の温かさに救われていました。学校終わりにはみんなで観光地に連れて行ってもらい、その場所の歴史や背景について細かく教えてもらいました。深い歴史を持つ石碑や、斜めに建っている書店など、ユーモアがあって心惹かれる場所が多く、ほぼ毎日2万歩に到達するほどでした。週末にはグリニッジへ行って、本初子午線を通り、船でロンドンまで行きました。大英博物館で有名な展示物を見たり、友達とお土産を買ったりと、夢のような時間を過ごせてとても幸せでした。

新しい場所や物事に触れることで学べるものには限りがないと、改めて実感できるような旅でした。いつか必ずロンドンに戻って、「あの時学んだことを今活かしている」と思えるようにもっともっと頑張りたいと思います。